



日本語の謎を解く

「赤い」「青い」とは言うのに「緑い」と言わないのはなぜ？「は」と「が」はどう違う？「全然、大丈夫」という表現は間違いか？日本語の起源から音声・語彙・文法・表現まで、素朴な疑問に、最新の言語学で答えます。

橋本陽介 著 (新潮社)



異常気象で読み解く現代史

砂塵嵐、大飢饉、核の冬、温暖化……。二〇世紀初頭から現代にかけて起きた気候変動・異常気象と、その背景に隠された人為の影響を、豊富な文献資料とデータに基づき明らかにする。

田家康 著 (日本経済新聞出版社)



児童書

なぞなぞがじまるよ

二頭そろろうとこはんをどんどん食べだすどうぶつ、なあに？二匹そろろうと倒れちゃうむし、なあに？ひとが転んでもしらん顔しているむし、なあに？なぞなぞのおもしろさと、絵本のおもしろさが合体したなぞなぞ絵本。

高島純 絵 (絵本館)

6/30 図書室 休館のお知らせ
資料整理のため、6月30日(木)は、図書室をお休みします。
7月1日(金)からは平常どおり利用できます。
問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449



豊山俳句クラブ

青山克己 選

あかさたな春となりぬるをわかかな 石黒貴代子

花びらの行方は何処春風 杉本衿子

春愁や父の齢に近づけり 坪井径子

真紅より辛夷の似合ふ下粟は 安藤春一

海からの風を染めたる初桜 青山とも子

草餅や齢かさねし母とるて 水野真弓

豊山歌壇

水野笑子 選

三十一忌迎へし母に有難う 安達洋子

いくら謝してもなほ謝し難き 荒川昌枝

案内状は二ヶ月先のクラス会 古里からの嬉しき便り 安藤定岳

少しづつ緩む寒さにはづむ声 待ちどほしいな大和の花が 一柳千鶴子

春の花は黄の色がよし春光の 牙ゆるがごとき清しきありて 柴田満枝

咲くさくら散ってなほ且つさくらかな 高木須磨子

柿若葉空やはらかくなりにつけり 田村多喜子

片栗や耳をすませば水の音 坪井昭子

白木蓮心のいたみ散らしをり 杉浦みどり

足早の少女の素足草萌ゆる 村上ゆり子

おだやかなままに暮れゆく春彼岸 小塚美枝

淡墨の花にまつはる謂れかな 岡島 齋

うたかたを夢と遊びさくら入 青山克己

桃の花ほころび咲ける店先は 井上とよほ

菜の花の黄に春色溢るる 木村和子

封印を押したる心がやや動く さくら咲く日の近きこの頃 榊田真寿美

ゆらゆらと地面に散りばむ光の輪 春は近しと我に囁く 小出寿枝

大銀杏の裸木春陽に光りるて 小鳥の数羽何語りある 佐藤良子

日脚のびゆとりの夕べの庭に立つ オレンジ色の夕陽落ち行く 柴田満枝

みどり児の笑顔泣き声感無量 待ちるし春を迎ふる幸せ

編集後記

やることに裏目に出たり、ついでにないことが続くときは誰にでもあるのではないかと。そんなとき、どうするか▼背筋を真っ直ぐに伸ばして堂々と歩いてみるのも一つの方法である。猫背のまま下を見ながら歩いていても、人生に転機は訪れない。無理のない範囲で、メリハリの利いた生活を送る。そうすることで、人生のリズムも整っていく▼町は、今月から健康マイレージを始める。愛知県内の多くの市町村で行われる取組であるものの、本町は特に「運動」にポイントを配分している。運動といっても、散歩や掃除でもよい。自分にあつた取組を、継続することが大事である▼特集のインタビュにに応じてくださった鈴木さんもおっしゃるように、夫婦や仲間とともに取り組むのも、続けるには効果的だ。マイレージ制度は、お店のご協力も頂いて、町全体で一人ひとりの健康づくりを支援する▼この機会に、無理のない範囲で、体を動かしてみたいか？だるうか。運をも、より良い方に動かすはずである。